東京湾大感謝祭 2014 報告書

東京湾大感謝祭実行委員会　事務局

東京湾大感謝祭 2014 報告書

東京湾感謝祭実行委員会

横浜赤レンガ倉庫　広場　１号館３Ｆホール

日時　2014.10.24（土）,10.25（日）

東京湾再生の目的

参加組織団体

アンケート結果

来場者層プロフィール

2014 プログラム内容

■　赤レンガ広場　■

広場ステージ

江戸前の食

ブース企画

■東京湾海上（横浜港）　■

プレジャーボート　クルーズ船体験

ＳＵＰレース

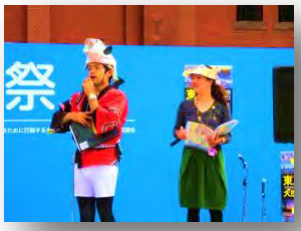
ハゼ釣り

■赤レンガ１号館３Ｆホール■

シンポジウム

ワークショッ

歴史文化展示



海洋少年団・手旗信号実演

ドラムサークルとゆるキャラ®によるステージコラボ

ゆるキャラ®全員参加による海に関するクイズ

出汁の取り方、味わい方　海の幸に感謝！

広場ステージ　2014.10.25 スタート

ステージが目指したことは、すべての人たちに参加して欲しいという希望です。来場された方々は、見る、聞く、楽しむ、アクション、そして体感するといったプログラム構成です。

時間	10月25日（土）		10月25日（土）
10:00			オープニング・田久保実行委員長　挨拶
			横浜海洋少年団
11:00			濱の海坊主が教えます!! 出汁の取り方、味わい方♪ 登壇社・横浜中央卸売市場　横浜魚市場卸組合　理事　坪倉 窓口：吉野
	ドラムサークル 45分 11：30-12：15		
12:00			
			ヤマハ・ライブ①アーチストParadi-Soul (パラディソウル)
13:00			13:00　演奏・消防音楽隊 13:05　挨拶・来生議長、来賓4名 13:20　謝辞・田久保委員長 13:25　撮影・ゆるキャラ登壇、祝電 13:30　閉会
14:00			ゆるキャラ®コラボ　　ドラムサークル（１５分～３０分）ゆるキャラ®によるドラム実演
	手づくり一弦ギター ワークショップ 90分 12:00-13:30		東京湾を知ろう！ ゆるキャラ東京湾クイズ選手権
15:00			東京湾再生について語ろう PT長パネルディスカッション
16:00			
			ヤマハ・ライブ②アーチストParadi-Soul (パラディソウル)
17:00			

広場ステージ　2014.10.26

東京チアチアパーティー

広場で行われた一弦ギター制作のワークショップ

（子供たちに大人気）

赤い靴ジュニアコーラスの合唱。海をテーマに透明度のある歌声

10.25 日　アーチスト Paradi-Soul (パラディソウル)

横浜地元のフラダンスチームの子供たち

ステージと一体となって参加演奏するドラムサークル。

音楽の面白さを発見できます。

横浜に縁のあるステージ出演が実現しました。

▲東京湾再生官民連携フォーラムプロジェクトチーム長によるパネルディスカッション

　なぜ東京湾再生が必要なのか・・、海に接する機会がどんどん失われ、関心が薄らぐ日常の中でも海にもエコな環境が必要となっている。

■広場　江戸前の食■

江戸前という〝ことば〟から連想すると多くの方々は、お寿司を思い浮かべます。私たちは東京湾　江戸前をどうしたらよいかを検討するにあたって、今の江戸前をみなさまに知っていただくことからはじめてみました。

〝ホンビノス〟は、あさりによく似た食感と味があります。（外来種です）

江戸前三番瀬の海苔　　伝統ある海苔の発見

どちらのお弁当も東京湾産です。千葉の野菜とのコラボ（左側）

■広場ブース

広場ブースにおいては、江戸前の食、企業・自治体の展示が行われた。左記のリストは展示出展の企業。主に海関係の中でも港湾を中心に、事業を手掛けてきている企業が中心となった。
なかでも、企業も単純に工事を行うだけではなく、生き物や環境に配慮した新しい知恵を使った取組を行っており。まずは、環境にとり有益となるところかアプローチしている様子が見て取れた。

官庁・自治体・大学の出展は、関東地方整備局、横浜市、さいたま市で、海を中心とした取組の展示をおこなっている。さいたま市は独自の取り組みを実施し、観光面へのアピール、さいたま市域企業との共同による出展となった。さいたまの場合は、海はないが流域市として、結果的には、海につながる川と水に対する環境への配慮姿勢が強く感じられた。来場の方々も以外と、内陸に関する興味も高く、秩父市との共同であったが、好評をはくしていた。
マリコンの企業活動を紹介する場、生活者にマリコンという言葉ないし港湾の建設・土木などの活動を身近に感じるチャンスは少ない。一つのアピールチャンスとして、生活者への質問に答えるなどあたらしい企業の姿、活動などを多くの方々に伝えることができた。

たくさんのゆるキャラ®が出演

	【出展企業】
1	若築建設株式会社
2	大日本コンサルタント株式会社
3	株式会社大本組
4	東亜建設工業株式会社
5	東洋建設株式会社
6	株式会社本間組
7	マリンライセンスロイヤル
8	五洋建設株式会社
9	横浜市
1	国土交通省関東地方整備局
11	日本工営株式会社
12	あおみ建設株式会社
13	オリエンタル白石株式会社
14	ヤマハ発動機株式会社
15	生活協同組合ユーコープ
16	株式会社マーションジャパン
17	喫煙ブース
	【食】
食1	遠忠商店　本店
食2	福田海苔店
食3	佳栄丸
食4	寿司処しゅん御徒町
食5	大地を守る会おさかな喰楽部
食6	山茂丸水産
食7	南魚沼大久保農園株式会社
食8	鳩屋海苔店
食9	コトモノ株式会社
食10	㈱横浜アーチスト

	【浮き輪協賛】
1	いであ株式会社
2	日建工学株式会社
3	ハマの海を想う会
4	ＮＰＯ法人海辺つくり研究会
5	株式会社クルー・エレテック
6	株式会社中村住装
7	三洋テクノマリン株式会社（５口）
8	株式会社スリービー
9	日本海洋コンサルタント株式会社
10	株式会社アーク・ジオ・サポート
11	株式会社エコー
12	リビングワークス株式会社
13	港湾局有志
14	株式会社アスカ
	【３Ｆホール関連】
1	トールシップ総会
2	東京湾再生官民連携フォーラムモニタリングＰＴ／江戸前ハゼ復活プロジェクト／なんじゃらもじゃら
3	東京湾海洋環境研究会
4	東京湾研究会
5	東京湾岸自治体環境保全会議
6	海藻おしば協会
7	運河を美しくする会
8	国土技術政策総合研究所
	【その他】
	都漁連内湾釣漁協議会（寄附）
	東京湾遊漁船業協同組合

国土交通省関東整備局のブースでは、ベイクリン（海のお掃除船）も紹介

東洋建設さんは、アマモの里親募集です。
左手前にあるのがアマモ
（お魚の産卵に最適）

五洋建設さんは、生き物探し！

横浜の海を知ろう　横浜市のブース

お魚にさわれるよ！

■東京湾海上 プレジャーボート　クルーズ船体験

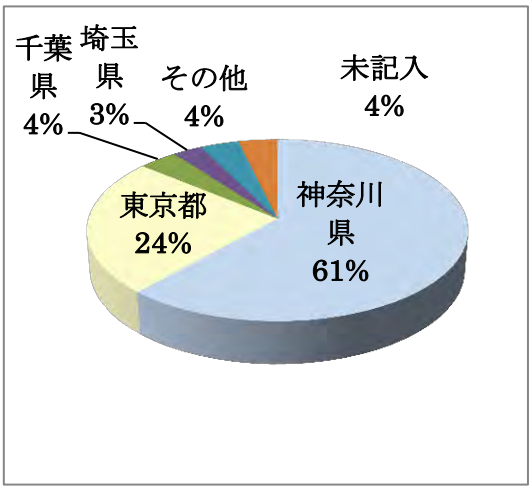
（クルーズ船を除く）２日間で１５０組２２３名の方に乗船いただくことが出来た。家族連れの方も多くお越しいただき、特にボート、ヨットは、家族連れが多かった。

	25日			26日			合計		参考フル定員数
	運行回数	組数	乗船数	運行回数	組数	乗船数	**組数**	**乗船数**	
ボートA	4回	16	27	4回	15	27	**31**	**54**	72
ボートB	5回	17	27	5回	13	24	**30**	**51**	60
ヨット	4回	18	22	4回	9	20	**27**	**42**	64
らいちょうN	2回	28	35	3回	34	41	**62**	**76**	100
合計	15回	79	111	16回	71	112	**150**	**223**	296

□今度乗船してみたい船は、47%の方がヨットと回答。

今後乗船されたい船は	
ボートA	36
ボートB	16
ヨット	80
らいちょう N	40
合計	172

アンケート属性



今まで経験したことのある海洋レジャーについてお聞きしたところ、海水浴を除き、釣り、ボート、ダイビング、ヨット、カヌーの順。

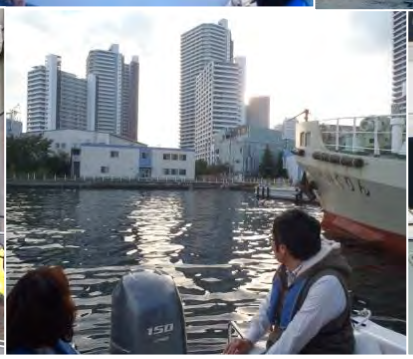
体験した海に関連した遊び（複数可）	
海水浴	82
釣り	85
ダイビング	51
カヌー	39
ヨット	44
ボート	53
その他	28
合計	382

□実施期間　：２０１４年１０月２５日（土）～２６日（日）
□実施場所　：象の鼻パーク　体験乗船会受付
□実施方法　：アンケート用紙手渡し、本人記入
　　＊家族の場合は、代表者が記入
□取得件数　：１６０名
□アンケート調査内容
□報告内容　　１．体験乗船会実施結果
　　２．体験乗船者の居住地
　　３．アンケート結果

＊横浜港クルーズは、当日予約乗船料￥1,000 にて実施。乗船実績は、事務局テントでのチラシ配布効果と天候に恵まれ、25 日定員 400 名⇒実績 385 名、26 日定員 320 名⇒283 名の結果

25日：オセアンブルー 定員：100名	1便 12：45～	2便 14：05～	3便 15：05～	4便 16：05～	合計
大人	51	130	68	118	367
子供	8	5	2	3	18
合計	59	135	70	121	**385**

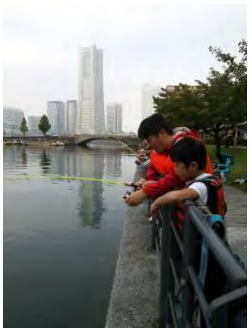
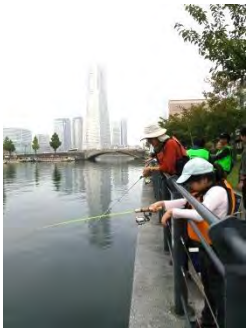
26日：オーシャンクラフト 定員：80名	1便 12：45～	2便 14：05～	3便 15：05～	4便 16：05～	合計
大人	47	79	88	54	268
子供	5	4	2	4	15
合計	52	83	90	58	**283**



SUP レース

ハゼ釣り教室

＊２６日（日）運河パークにて１０：００～１３：００までホームページ（日釣振神奈川支部）による事前公募及び当日受付にて４０名参加（ホームページ２０名、当日受付２０名）のもとハゼ釣り教室を開催した。参加者は、親子にて参加されており釣り糸を垂らすとすぐにハゼが釣れ、皆さん楽しんでおられました。

■赤レンガ１号館３Ｆホール■

ワークショップ

歴史文化展示

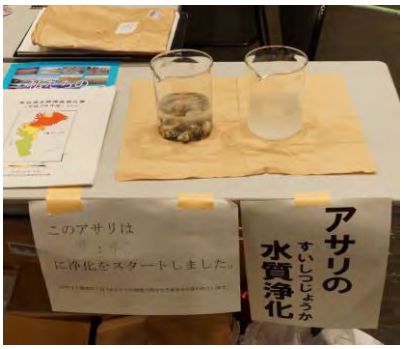
東京湾研究会は、江戸前の魚介類の展示。
観察に力をいれました。活きたニホンウナギ
のレプロケファルス幼生（赤ちゃん）
の展示は、研究室レベルの公開はあるが、一般
的な活きたニホンウナギは初。

■ホール展示の参加組織・団体

団体名	出展内容	イベント名
半魚人倶楽部 （はんぎょじんくらぶ）	ちりめんじゃこ（しらす：カタクチイワシの稚魚）の中に混じっているちりめんじゃこ以外の生物（チリメンモンスター）を探して、コレクションカードを作成する。	チリメンモンスターを探せ！
UMI 協議会	活動パネル	海にみんなで行こう！
一般財団法人日本海洋 レジャー安全・振興協会	組みひも教室	組紐を利用したストラップ制作体験！
国土交通省関東運輸局	膨張式ライフジャケット展示及び実演	膨張式ライフジャケットの着用体験！
ハマの海を想う会	海とゴミ袋の絵本動画上映	「まちのうみ、みらいのうみへ」 絵本動画上映
海上保安庁	パネル展示 ・伊能忠敬作東京湾（伊能図）と現在の東京湾(海図)パネル２枚　1,100x770×２枚(紙)	東京湾の変遷 伊能忠敬が見た東京湾と今
	・ペリー来航当時の東京湾＋説明パネル： パネル２枚　ペリー(パネル)1,040x740、 説明(掛軸)1,470x800	ペリー来航当時の東京湾
	３Ｄ地形図：Ａ０版	東京湾の海底地形
ＮＰＯ法人日本ビーチ文化 振興協会	写真パネル展示　Ａ１パネル 2～３枚	ビーチライフを楽しもう
あらくさ句会	俳句をＡ１パネルに入れて展示 （Ａ１パネル２枚	東京湾の四季を詠う
大森海苔のふるさと館	写真パネル展示、海苔鋤き道具展示	江戸前の海苔づくり
浦安市郷土博物館	写真パネル展示　：１０枚 東京湾（主に浦安）の海辺風景写真	かっての東京湾の風景
（独）水産総合研究センター 産研究所	パネル展示：Ａ１パネル１枚	明治の東京湾漁場図
木更津金田の浜活性化	脚立２台、釣竿	江戸前の風物詩　アオギスの脚立釣り再現！
事務局:	海を活かしたまちづくりコンペ入選作品	海を活かしたまちづくりコンペ入選作品

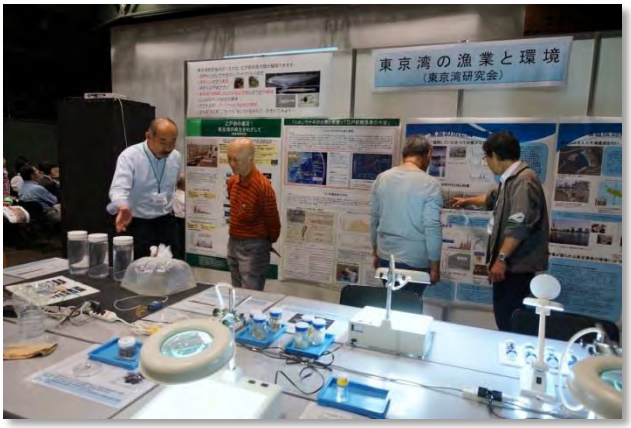
海藻おしば体験教室

ワークショップ参加者作品例



水質改善の一例です。

▼東京湾研究会展示



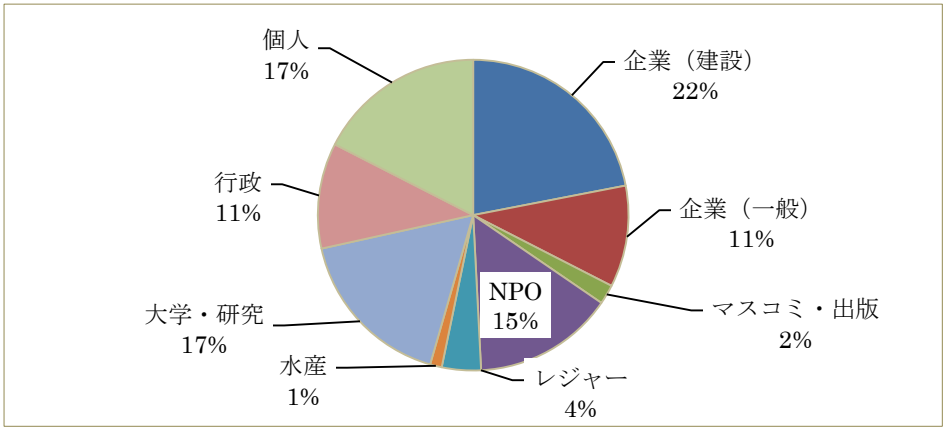
横浜竿　（穂先に鯨のひげを使うのが特徴的な横浜竿は、海釣り用の竿で、元は本牧近辺の漁師が使っていたものが発祥と言われています。）

東京湾の歴史に触れる（東京湾の海苔）

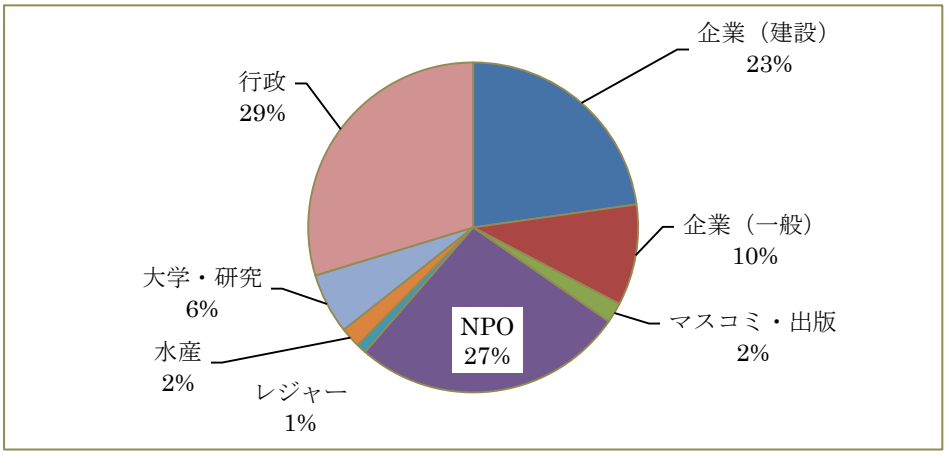
展示パネル

■東京湾再生官民連携フォーラム　会員　プロフィール

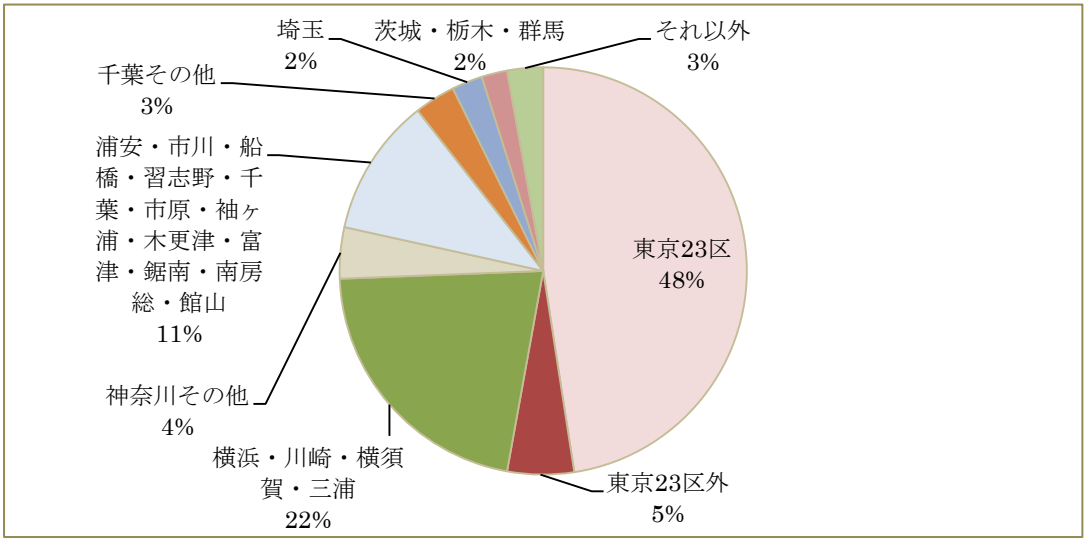
業種別・個人会員内訳（２４６人）２０１４.１１．１８現在



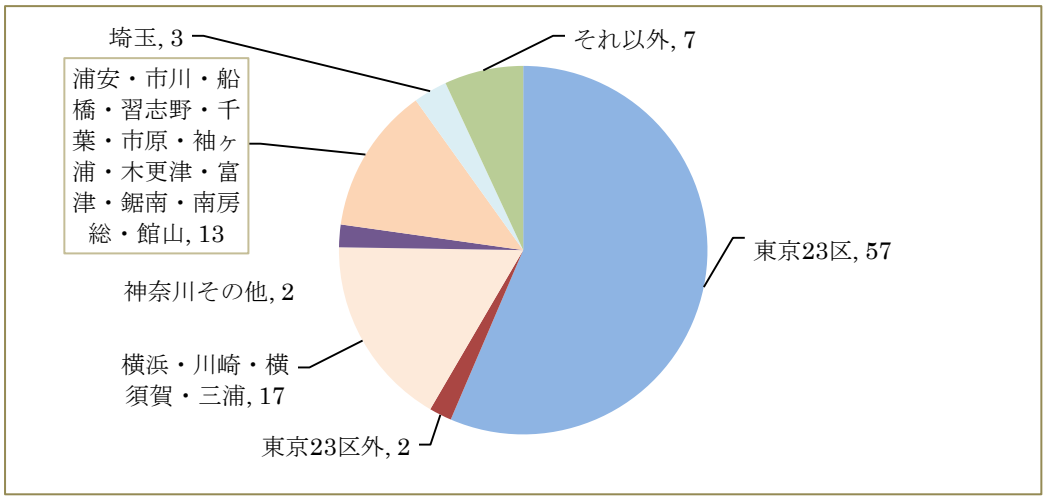
業種別団体会員の内訳（101 団体）



所在地別・個人会員内訳



所在地別・団体会員の内訳



今回、2014.10.25（土）,26（日）に開催いたしました東京湾大感謝祭は、天候にも恵まれ、累計で８万 2000 人の人出でにぎわうことができました。当初の、1,200 人から会場を、東京　青海のタイム２１から横浜赤レンガに会場を移しての開催となります。

目的は東京湾をとにかく意識してもらうことの大切さを訴求する点にあります。その視点からいえば、まだ、はじまったばかりといえます。東京湾は横浜港、も川崎も千葉港も内包していますが、勘違いをされている方も多く、東京湾＝お台場のみのエリアと思われる方もありそうです。同時に関係ないと思われている企業の方、生活者の方も多くいらしゃいます。今一度、私たちが生活している〝場〟をふり帰ってみてください。そこには豊かなはずであり、今後も躍動し私たちにさまざまな恩恵を提供し続けてくれる東京湾の存在に気が付くはずです。

今後、数年間にわたり横浜赤レンガ倉庫でのイベントを開催していきます。

●2014.3 月〝人々が生物多様性の価値と行動を認識する〟ことを目標に UNDB-から認定連携事業になりました。

この事業は「国連生物多様性の 10 年日本委員会（UNDB-J)」が推奨する事業として認定を受けています。

●2014.11 生物多様性アクション大賞に応募し、入賞となりました。

■東京湾再生官民連携フォーラム活動経緯

第１回目の東京湾大感謝祭

2013.11１１．２３

東京湾再生官民連携フォーラム

設立総会の開催

平成 25 年 11 月 23 日に開催した東京湾再生官民連携フォーラム設立総会では、当日の会員受付を含め、出席会員数 224 名、放送大学　来生教授がフォーラム議長に選出し、5 つのプロジェクトチームの発足が承認された。議長から各 T 長が指名。

東京湾大感謝祭は、1,200 人を超える来場者数があり、トークショー、東京湾の生きた魚の展示、江戸前の料理試食等を楽しむと共に、東京湾再生に取り組む多様な主体からのパネル展示など。

○東京湾を見て味わう
○東京湾で遊ぶ
○東京湾の歴史を感じる
○パネル展：東京湾を知る(東京湾再生の取り組み)

●会員

東京湾再生官民連携フォーラムの会員数は、平成 25 年 8 月 13 日に会員募集を開始して以来、平成 26 年 3 月 31 日現在、団体会員 93 団体、（民間 28、NPO 等 26、レジャー1、水産 2、大学・研究 6、行政 30）、個人会員 221 人（民間 67、NPO 等 33、レジャー6、水産 2、博物館　2、大学・研究 31、行政 24、個人 39、企画委員メンバー　16）となり、官民多数の参加。

時　間	項　目	内　容
13:00 -13：20	東京湾大感謝祭　　開	タイム 24　1 階　ホール 1
13:00	開会挨拶：東京湾 再生官民連携 フォーラム企画 運営委員会委員長 來生新 （放送大学副学長）	来賓祝辞： 野上浩太郎　国土交通省 副大臣、 秋元司衆議院議員、 大西英男 衆議院議員、 江東区山崎孝明江東区長
13:20	UMI プロ認定 証授与式	対象者：(一財)セブン- イレブン記念財団、 ㈱高千穂、味の素㈱
13:35	トークショー	日本テレビプロデューサ 島田×海洋環境専門家・ 木村ダッシュ海岸
14:35	リレートーク	小泉武夫・発酵学者 「江戸前と東京湾を語る」

■東京湾の課題

★東京湾への日常性

«東京湾を訪れる頻度のアップ»

日常接する機会が少ないことが課題となる。年に一度という回答も多く、簡単に東京湾に接することができるスポットが望まれる。

«東京湾の姿»

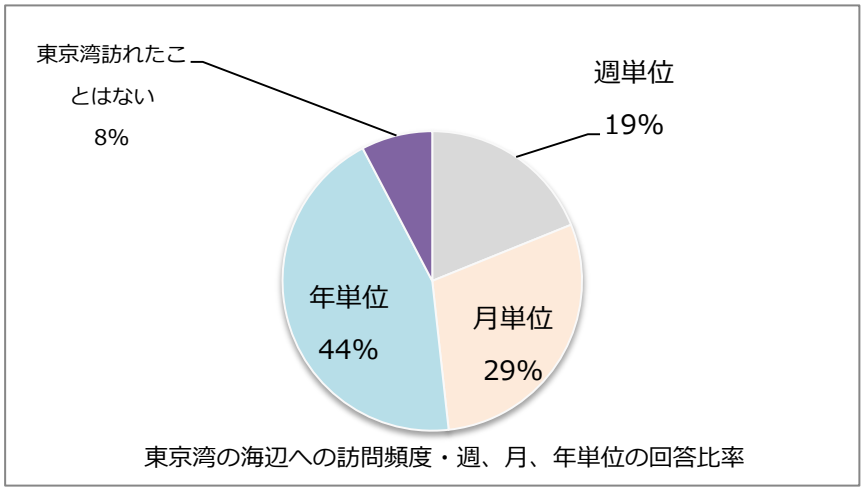
「市民が近づける水辺や干潟を増やす」東京湾のために使われる税金は、第１位は、「市民が近づける水辺や干潟を増やす」、第２位が「泳げるような水のきれいな東京湾を復活させる」、さらに３位には「江戸前の文化や伝統を守るための環境を保全・再生する」が挙げられました。

★東京湾のイメージ

工業地帯であり海上輸送の場としての機能認識が高い

東京湾は、工業、産業には寄与しているというイメージが高く、自然が持っているイメージを抱く人は、多くない。公害問

題から始まり東京湾が持つ良さを想起できる取組が重要と判断できる。

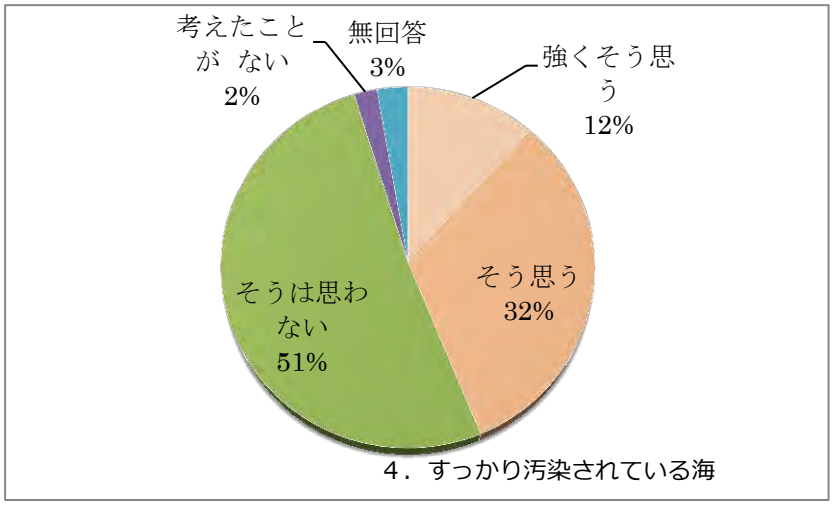


東京湾の海辺への訪問頻度・週、月、年単位の回答比率

■東京湾を訪れる頻度を年、月、週の単位でたずねたところ、月１回が２５人とトップで次いで年１回、年３回となりました。接触頻度が少ないことが気がかりです

二分する東京湾の汚染イメージ

■イメージが拮抗しているのが、東京湾に関する海の汚染で、「すっかり汚染されている海」というイメージに「強くそう思う＋そう思う」が 44%、「そう思わない」と回答した方が 51%で、かろうじて半数を超えています。



アンケート調査概要】

・調査名　：東京湾大感謝祭　来場者アンケート

・調査方法：イベント会場内　受付配布

・調査対象：　東京湾大感謝祭来場者

・調査期間：2013 年 11 月 23 日

・有効回答数：146 件

・内容：感謝祭参加理由や東京湾へのイメージなど